



2021年5月14日

各 位

会社名 凸版印刷株式会社  
代表者名 代表取締役社長 磨 秀晴  
(コード番号 7911 東証第一部)  
問合せ先 取締役専務執行役員  
経営企画本部担当 坂井 和則  
(TEL. 03-3835-5588)

## 中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社グループは、2021年度を初年度とする中期経営計画（2021年4月～2023年3月）を策定いたしましたので、その概要を下記の通り、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 基本方針

##### “Digital & Sustainable Transformation”

「DX」と「SX」によって、ワールドワイドで社会課題を解決するリーディングカンパニーとして、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指す。

#### 2. 中長期の重点施策

##### (1) 事業ポートフォリオの変革

既存事業の構造改革による収益獲得と同時に事業ポートフォリオの変革に向け、以下を重点施策として位置付け、取り組んでまいります。

- ①DX事業の推進
- ②生活系事業の海外展開
- ③新事業（フロンティアビジネス）の創出

##### (2) 経営基盤の強化

DXを軸に自社競争力のさらなる強化を図り、以下を重点施策として位置付け、事業変革の基盤を形成してまいります。

- ①システム基盤のモダナイゼーション
- ②スマートファクトリーの推進
- ③研究開発機能の強化
- ④人財の育成・活用

##### (3) ESGへの取り組み深化

社会的価値創造企業としてESGへの取り組みを積極的に推進し、以下を重点施策として位置付け、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

- ①環境への取り組み—気候変動への対応
- ②経営戦略へのSDGs視点の織り込み
- ③ガバナンス向上に向けた取り組み

### 3. 財務方針・資本政策

#### (1) 財務方針

持続可能な社会の実現に向け、すべてのステークホルダーとともに社会的価値の創造を目指します。この長期目標達成のため、持続的な成長を支える財務戦略を展開してまいります。

- ①積極投資による収益性の向上
- ②資産の入れ替えによる資産効率の向上
- ③財務規律に基づき、財務健全性を維持

#### (2) 資本政策および株主還元方針

事業活動により創出したキャッシュは、中長期的な財務健全性を維持しながら、成長投資と株主還元によりバランスよく配分してまいります。キャッシュフローの拡大に注力し、収益性・健全性の向上を図りながら、株主還元の充実に努めます。具体的には、連結配当性向30%を目途に安定的な株主還元を実施します。また、市場環境及び業績や財務状況等を見極め、追加還元の可能性も検討してまいります。

#### (3) 政策保有株式の縮減

当社は、過去において取引先の株式を保有することで、幅広いお客さまと安定的な受注基盤をつくってまいりました。近年は、資本コストと内部資金調達の観点を踏まえ、合理性の検証に基づく資産売却を推進しております。引き続き、資産効率向上を目指し、意義の低下した政策保有株式は縮減を加速してまいります。

### 4. 経営数値目標 (2022年3月期から2023年3月期)

(単位：百万円)

	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (予想)	2023年3月期 (計画)
売上高	1,466,935	1,450,000	1,500,000
営業利益	58,789	52,000	67,000
経常利益	58,053	51,000	66,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	81,997	31,000	41,000
ROE (%)	6.5	2.3	3.1

中期経営計画の詳細につきましては、下記ホームページをご覧ください。

<https://www.toppan.co.jp/ir/>

本資料に記載されている内容は、現時点で入手可能な情報に基づき作成されたものであり、不確実性を含んでおります。実際の業績はさまざまな要因により異なる可能性があります。

以 上